

ゆ〜れい旅行記

157 早稲田大学高等学院 早稲田大学高等学院中学部 鉄道研究部

新宿から列車に揺られて2時間余り。

綿毛舞う五月、碧空の下で、私は薄墨色のプラットホームにふわりと降りた。

駅舎を出て、何分か歩くと、トンネルが段々見えてきた。

今回の目的地は、幽霊たちの間で話題になっている観光地。

「大日影トンネル・深沢トンネル」

先日、雑誌で取り上げられているのを見て、いても立ってもいられなくなり、ここまで来てしまった。廃線跡のトンネルを遊歩道として残し、トンネルの一部をワインカーブとして活用している所で、人間さんにも人気の場所らしい。

幽霊にしてみれば、居心地のいい長いトンネル！ 都会の喧噪から離れた山の閑かさ！
駅近！ そして、心に染み入る光景！ なんていい場所なのだろう。

こここそが私の天国なのだろうか。

「プーン！」

トンネルを抜けると並走する特急の警笛が聞こえた。

「あ！」

なけなしのバイト代をはたいて行きの切符を買ったけど、帰りのことを忘れてた！

また、徒歩帰りか……トホホ、なんつって。